

12月

新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
架空犯	東野 圭吾	『白鳥とコウモリ』の世界再びー焼け落ちた屋敷から見つけたのは、都議会議員と元女優夫婦の遺体だった。華やかな人生を送ってきた二人に何が起きたのか。
こぼれ落ちる欠片のために	本田 孝好	殺人事件の現場に向かった、県警捜査一課の和泉。そこで出会った女性警官・瀬良の第一印象は、「最悪」だった。上の命令で瀬良とタッグを組み殺人事件を捜査することに和泉は彼女の類い稀な観察力を知ることになる。
鎌倉駅徒歩8分、また明日	越智 月子	いつだって、ここからが始まり。『鎌倉駅徒歩8分、空室あり』、待望の続編。鎌倉の古い洋館でシェアハウスを始めた香良。個性豊かな住人たちと楽しく穏やかに暮らしていたが、そんな日々も永遠には続かない。
秘色の契り 阿波宝曆明和の変 顛末譚	木下 昌輝	徳島藩を二分する家臣団の対立が勃発する。新藩主として第十代藩主・蜂須賀重喜を迎え、気鋭の中年たちは、藩政改革と藍玉の流通を取り戻そうと闘い始めた…。
雫	寺地 はるな	今日が、雨でよかったー時を超え、かたちを変えて巡る、“つながり”と再生の物語。ビルの取り壊しに伴うリフォームジュエリー会社の廃業を起点に時間をさかのぼりながら、物から物へ、人から人へと、30年の月日のなかで巡る想いと“つながり”、新たな始まり
街角ファンタジア	村山 早紀	ファンタジー小説の名手・村山早紀が描く心温まる物語。街の片隅の小さな奇跡が人々の悲しみや痛みを癒す、感涙必至の最高傑作！
誘拐ジャパン	横関 大	読んでるあなたも共犯者？突如現れた謎の老人に投げ飛ばされ目覚めた美晴は老人が、かつてキングメーカーとして恐れられた大物政治家であることに気づく。持ちかけられたのが、総理の孫・桐谷英俊を誘拐することだったー。

ノラネコぐんだん ピザをやく

工藤 ノリコ

ノラネコぐんだんが窓からお店をのぞくと、ワンワンちゃんが配達注文を受けていました。いつものように勝手にお店に忍び込み、力を合わせてピザづくりに励むノラネコぐんだんの姿が、なんともいとおしい!

【お知らせ】

月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。

- NHKテレビテキスト「囲碁講座」
- NHKテレビテキスト「すてきにハンドメイド」
- 「ESSE」

